

作成日 2019/04/16
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	バケツ入り固形カーシャンプー
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M190416

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器 消化管 中枢神経系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器 神経系)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分2 水生環境有害性(長期間) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H315 皮膚刺激 H318 重篤な眼の損傷 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H371 呼吸器、消化管、中枢神経系の障害のおそれ H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害のおそれ H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
応急措置	飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P301+P312) 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。(P308+P311)

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)

特別な処置が必要である。(P321)

口をすすぐこと。(P330)

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)

漏出物は回収すること。(P391)

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	25.0%	不明	(3)-1884,(3)-1907	既存	27176-87-0
ステアリン酸ナトリウム	5.0%	NaC17H35COO	(2)-611	既存	822-16-2
硝酸塩	非公開	不明	不明	不明	不明
ホウ砂	7.0%	Na2B4O7·10H2O	(1)-69	既存	1303-96-4
有機酸	微量	不明	不明	不明	不明
水酸化ナトリウム	1.0%未満	NaOH	(1)-410	既存	1310-73-2
水	残量	不明	不明	不明	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合

目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置
消火剤
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

水溶液がこぼれた場合はすべりやすいため注意する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

除去方法

少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。
飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

注意事項

みだりに粉塵が発生しないように取扱う。

安全取扱い注意事項

容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。
使用後はバケツの中の水を切り、直射日光の当たらない涼しい場所で保管すること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えて保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
水酸化ナトリウム	未設定	【最大許容濃度】 2mg/m ³	TWA -, STEL C 2 mg/m ³
ステアリン酸ナトリウム	未設定	未設定	TWA 10 mg/m ³ (I), 3 mg/m ³ (R), STEL -
ホウ砂	未設定	未設定	TWA 2 mg/m ³ (I), STEL 6 mg/m ³ (I)
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具 呼吸器の保護具 特に必要としない。
 手の保護具 ゴム製保護手袋を使用する。
 眼の保護具 保護眼鏡を使用する。
 皮膚及び身体の保護具 保護衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 物理的状态 固体
 形状 固体
 色 白色
 臭い わずかに特異臭
 臭いのしきい(閾)値 データなし
 pH 7.6(代表値)
 融点・凝固点 データなし
 沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし
 引火点 引火せず
 蒸発速度 データなし
 燃焼性(固体、気体) データなし

燃焼又は爆発範囲 下限 データなし
 上限 データなし
 蒸気圧 データなし
 蒸気密度 データなし
 比重(密度) データなし
 溶解度 データなし
 n-オクタノール／水分配 水に分散する。
 係数 データなし
 自然発火温度 データなし
 分解温度 データなし
 粘度(粘性率) データなし
 動粘性率 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし
 化学的安定性 通常の条件では安定。
 危険有害反応可能性 強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件 現在のところ有用な情報なし。
 混触危険物質 ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

危険有害な分解生成物 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 急性毒性推定値が790.7961905mg/kgのため区分4に該当。
 経皮 急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。
 吸入 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
 (気体)
 GHS定義による気体ではない。
 (蒸気)
 データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	(粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 10×(区分1+1A+1B+1C)の成分合計が10%のため、区分2に該当。 眼区分1の成分合計が26%のため、区分1に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
発がん性 生殖毒性	データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) 区分1Bの成分が7%のため、区分1Bに該当。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。 区分1(呼吸器)の成分が1%のため、区分2(呼吸器)に該当。 区分1(消化管)の成分が7%のため、区分2(消化管)に該当。 区分1(中枢神経系)の成分が7%のため、区分2(中枢神経系)に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)の成分が7%のため、区分2(呼吸器)に該当。 区分1(神経系)の成分が7%のため、区分2(神経系)に該当。
吸引性呼吸器有害性	動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性(急性)	(毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が30%のため、区分2に該当。
水生環境有害性(長期間)	(毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が25%のため、区分2に該当。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant
	非該当 applicable

	Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code.	Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当 非該当 非該当 該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし

15. 適用法令

化審法 労働安全衛生法	優先評価化学物質(法第2条第5項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
水質汚濁防止法	水酸化ナトリウム(政令番号:319)(5%未満) ステアリン酸ナトリウム(政令番号:325)(1%-10%) ほう酸及びそのナトリウム塩(政令番号:544)(1%-10%) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
大気汚染防止法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
労働基準法	ほう素化合物(政令番号:405)(7.0%) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)(政令番号:30)(25%) 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報
の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、
取扱いには十分注意して下さい。